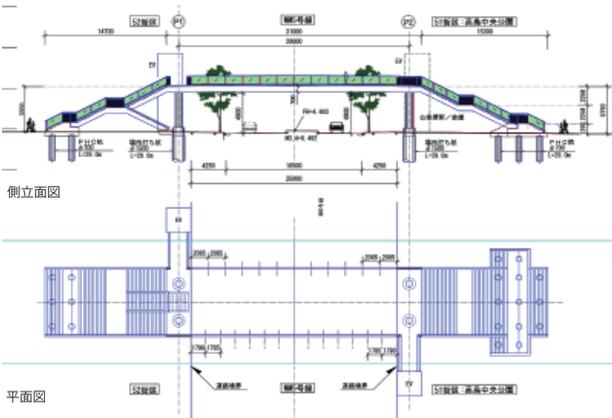


みなとみらい 21 地区の歩行者軸「キング軸」上の新高島駅側センター街区デッキレベルから高島中央公園を経て海側に続く歩道橋の景観設計を担当した。アブルは「キング軸」および周辺街区のデザインコードづくりと同公園の基本設計見直しも含む全体のデザイン調整役を担ってきた関係で、(株)オリエンタルコンサルタンツからの協力依頼を受け、構造形式の代替案検討を含む初期段階から関わり、利用者の上下移動を最小限に抑えつつ桁下の景観配慮等から逆台形箱桁構造とし、階段下空間の有効活用の提案（公衆便所との一体設計）、エレベーター建屋、高欄・舗装・照明等の橋面工のデザイン等を担当した。あわせて公園設計者（ライフ計画事務所）に協働する形で階段下公衆便所の一体設計も行っている。



高島中央歩道橋の位置



キング軸上の高島中央歩道橋の橋面から海側から望む



高島中央公園側の階段部下に納められた公衆便所



高島中央歩道橋のシンプルな箱桁を採用で支間長 28m で桁高 0.7m を実現した



高島中央歩道橋の橋面から新高島駅側のキング軸（予定）を望む



高島中央歩道橋の側景観とガラス張りのエレベーターシャフト

経緯 MM21 中央デッキ（高島中央歩道橋）景観検討'05.8～'06.3 (株)オリエンタルコンサルタンツ（都市再生機構神奈川地域支社）
 諸元 所在地：横浜西区みなとみらい 高島中央歩道橋 幅員 8.5 m 橋長 31.0 m 階段部 14.7 m + 15.3 m 計 61.0 m 鋼床版逆台形箱桁橋 竣工：'09.9
 担当：中野、田邊、松尾